

a, b は正の整数で互いに素とする。このとき、どんな整数 n も適当な整数 x, y を用いて $n = ax + by$ という形に表されることが知られている。集合 A を

$$A = \left\{ n \mid \begin{array}{l} n \text{ は整数であって, } 0 \text{ 以上の適当な整数 } x, y \text{ を用いて} \\ n = ax + by \text{ という形に表される.} \end{array} \right\}$$

とおく。このとき、 $(a-1)(b-1)-1$ は A の要素ではないが、 $(a-1)(b-1)$ 以上のどんな整数も A の要素であることを証明したい。以下の設問に対する解答を解答用紙の所定の欄 (省略) に述べよ。

- (1) $a = 4, b = 7$ の場合を考える。このとき、右
- | | | | | | | |
|---|---|----|----|----|----|----|
| 0 | 4 | 8 | 12 | 16 | 20 | 24 |
| 1 | 5 | 9 | 13 | 17 | 21 | 25 |
| 2 | 6 | 10 | 14 | 18 | 22 | 26 |
| 3 | 7 | 11 | 15 | 19 | 23 | 27 |
- にある 0 以上 27 以下の整数のうち、 A の要素であるすべての数を ○ で囲め。
- (2) n は整数とし、適当な整数 x_0 と y_0 を用いて、 $n = ax_0 + by_0$ と表す。このとき、 y_0 を a で割った余りを y とすると、適当な整数 x を用いて $n = ax + by$ という形に表されることを示せ。
- (3) $n = (a-1)(b-1) - 1$ とする。このとき、 n は A の要素ではないこと、すなわち 0 以上のどんな整数 x, y を用いても、 $n = ax + by$ という形に表すことができないことを背理法を用いて示せ。
- (4) n は $(a-1)(b-1)$ 以上の整数とする。このとき、 n は A の要素であること、すなわち整数 x, y を $0 \leq y < a$ を満たすように選んで $n = ax + by$ という形に表すと、 $x \geq 0$ であることを示せ。

(18 聖マリアンナ医大 4)

【答】

- (1) 0, 4, 7, 8, 11, 12, 14, 15, 16, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27
 (2) 略
 (3) 略
 (4) 略

【解答】

- (1) $a = 4, b = 7$ のとき

$$A = \{n \mid n = 4x + 7y, x \text{ と } y \text{ は } 0 \text{ 以上の整数}\}$$

$y = 0$ のとき、 $n = 4x$ ($x \geq 0$) であり	$n = 0, 4, 8, 12, 16, 20, 24$
$y = 1$ のとき、 $n = 7 + 4x$ ($x \geq 0$) であり	$n = 7, 11, 15, 19, 23, 27$
$y = 2$ のとき、 $n = 14 + 4x$ ($x \geq 0$) であり	$n = 14, 18, 22, 26$
$y = 3$ のとき、 $n = 21 + 4x$ ($x \geq 0$) であり	$n = 21, 25$
$y \geq 4$ のとき、 $n = 28 + 4x \geq 28$ ($x \geq 0$) は	範囲外

0 以上 27 以下の整数のうち、 A の要素であるすべての数を \bigcirc で囲むと次のようになる。

\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
1	5	9	13	17	\bigcirc	\bigcirc
2	6	10	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc
3	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc

……(答)

- 「 $n \in A$ ならば $n + 4 \in A$ である」といえる。

(2) y_0 を a で割ったときの商を q (q は整数) とすると、 $y_0 = aq + y$ であるから

$$\begin{aligned} n &= ax_0 + by_0 \\ &= ax_0 + b(aq + y) \\ &= a(bq + x_0) + by \end{aligned}$$

より、 $x = bq + x_0$ となる x を用いると、 $n = ax + by$ という形に表すことができる。

……(証明終わり)

(3) $n = (a - 1)(b - 1) - 1$ のとき、 $n = ax + by$ となる 0 以上の整数 x, y が存在すると仮定すると

$$\begin{aligned} (a - 1)(b - 1) - 1 &= ax + by \\ ab - a - b &= ax + by \\ a(b - x - 1) &= b(y + 1) \end{aligned}$$

a, b は互いに素より、整数 k を用いて

$$\begin{cases} b - x - 1 = bk \\ y + 1 = ak \end{cases}$$

と表すことができる。このとき

$$\begin{aligned} bk &= b - x - 1 < b \text{ より } k < 1 \\ ak &= y + 1 > 0 \text{ より } k > 0 \end{aligned}$$

すなわち、整数 k は $0 < k < 1$ となるが、このような整数は存在しない。

よって、 $n = (a - 1)(b - 1) - 1$ のとき、 $n = ax + by$ となる 0 以上の整数 x, y はない。

……(証明終わり)

(4) n は $n \geq (a - 1)(b - 1)$ を満たす整数とする。

(2) より、整数 x, y ($0 \leq y \leq a - 1$) を用いて

$$n = ax + by \quad (0 \leq y \leq a - 1)$$

の形に表すことができる。このとき

$$ax = n - by \geq (a - 1)(b - 1) - b(a - 1) = -a + 1 > -a$$

$a > 0$ より

$$x > -1$$

x は整数であるから、 $x \geq 0$

……(証明終わり)